

第10回 特別展 日大理工のちからVI

精密機械工学科

未来へ向けて

平成
25年

7月22日(月)

平成
26年

6月30日(月)

後援：船橋市教育委員会、理工学部校友会、理工学部校友会精密機械部会



CST MUSEUM

日本大学理工学部科学技術史料センター

船橋キャンパス 5号館2階 / 月曜日～土曜日 午前10時～午後5時 / 休館日：日曜・祝日
www.museum.cst.nihon-u.ac.jp

日本大学理工学部精密機械工学科は1961（昭和36）年に、電気の素養も豊富な機械技術者の育成を目指し創設され、多数輩出された卒業生とともに日本の技術力向上に貢献して参りました。創設当初は機械の自動化に資する研究教育から始まり、その後メカトロニクス、ロボット、マイクロマシン分野へと、発展を重ねるに至っています。また、近年多い自然災害等にも対応し、安全・安心な社会の実現と発展のために、過酷な環境下でも救助等の活動が行える新しいレスキューロボットや、超小型知能ロボット、さらには宇宙エレベーターの研究も推進しています。

本特別展では精密機械工学科の50年を越える歴史と、未来へ向かう精密機械工学を紹介します。

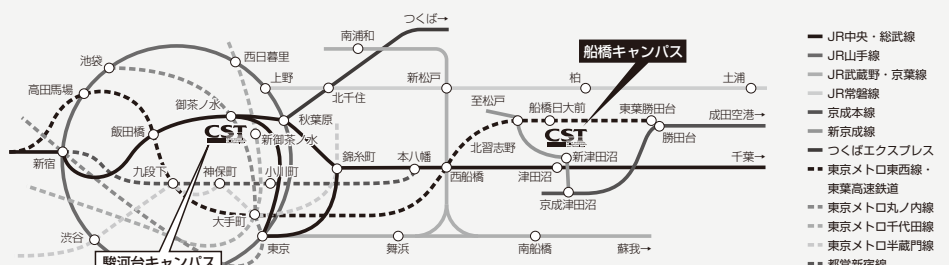


CST 日本大学理工学部

船橋キャンパス
〒274-8501 千葉県船橋市習志野台 7-24-1
アクセス

東葉高速鉄道（東京メトロ東西線乗り入れ）
[船橋日大前] 駅下車 西口徒歩1分

<http://www.cst.nihon-u.ac.jp/>



精密機械工学科展 「精密機械工学科 未来へ向けて」

2013年7月22日～2014年6月30日

